

■財務諸表・外部影響等

(単位:億円)

損益計算書	19/4-6月	18/4-6月	増減額	増減率	通期予想	進捗率
売上高	2,668	2,714	▲46	▲1%	11,710	22%
持分法による損益	14	17	▲2	▲15%	-	-
事業利益 *1*2	278	217	60	28%	970	28%
固定資産売却益	7	2	5	215%	-	-
その他	8	17	▲9	▲52%	-	-
その他の営業収益	15	19	▲3	▲20%	-	-
固定資産除去損	5	8	▲3	▲40%	-	-
その他	22	14	7	50%	-	-
その他の営業費用	27	23	4	17%	-	-
営業利益	266	213	52	24%	826	32%
受取利息	12	8	3	38%	-	-
その他	13	20	▲7	▲34%	-	-
金融収益	25	29	▲3	▲12%	-	-
支払利息	9	7	1	21%	-	-
その他	12	16	▲3	▲23%	-	-
金融費用	21	24	▲2	▲9%	-	-
税引前当期利益	269	218	51	23%	830	32%
法人所得税	73	59	14	23%	238	30%
税率	27.3%	27.2%			28.7%	
継続事業	196	159	37	23%	-	-
非継続事業 *2	▲4	1	▲6	-	-	-
当期利益	191	160	31	19%	592	32%
親会社の所有者	164	136	28	20%	500	33%
非支配持分	26	24	2	11%	92	29%

\*1 当社が経営管理のため独自に定義した利益指標。(売上高 - 売上原価 - 販売費・研究開発費及び一般管理費 + 持分法による損益)

\*2 前第1四半期連結会計期間より物流事業は、非継続事業に分類しております。当社は2019年4月1日にF-LINE株式会社(旧味の素物流株式会社)に対する支配を喪失し、当第1四半期連結会計期間よりF-LINE株式会社は当社の持分法適用関連会社となりました。当第1四半期連結会計期間において、支配の喪失に係る損益は非継続事業に含め、持分法による損益は継続事業に含めております。

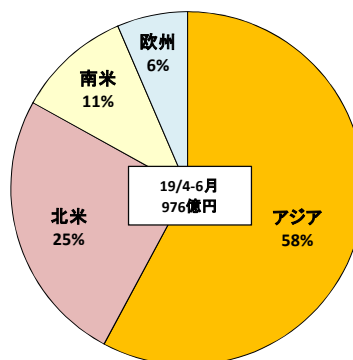
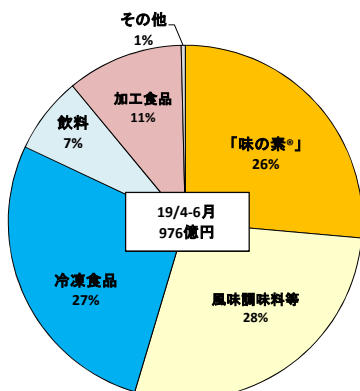
除く換算為替	19/4-6月	18/4-6月	増減額	増減率
日本食品	885	881	3	0%
海外食品	1,160	1,152	8	0%
ライフサポート	245	276	▲31	▲11%
ヘルスケア	340	342	▲2	▲0%
その他	59	60	▲0	▲0%
売上高	2,691	2,714	▲23	▲0%
日本食品	71	53	17	33%
海外食品	157	106	51	48%
ライフサポート	16	28	▲11	▲39%
ヘルスケア	25	19	5	30%
その他	9	9	▲0	▲3%
事業利益	280	217	63	29%

外部影響(対前年増減)	19/4-6月
換算為替	売上高 ▲22 ・ 事業利益 ▲2
貿易為替*	売上高 +約5 ・ 事業利益 約0
日本食品原材料	+1(調味料・加工食品+1、冷凍食品+0)
発酵原燃料	+3(主原料+2、副原料+0、エネルギー▲0)
コストダウン(日本食品)	+10(調味料・加工食品 +7、冷凍食品 +3)

\*5億円単位の概数で表示

為替レート	19/4-6月	18/4-6月	FY19予想
円/USD	109.90	109.10	110.00
円/EUR	123.50	130.03	129.00
円/THB	3.48	3.42	3.36
円/BRL	28.02	30.27	29.73

■海外調味料・加工食品、冷凍食品実績(構成比は四捨五入)



Five Starsおよび海外冷凍食品 売上高対前年増減率

タイ	約85億THB (LCベース+2%*、円ベース+4%)	*内訳>調味料 +4%、加工食品 +0%
インドネシア	約1兆3,973億IDR (LCベース+17%、円ベース+14%)	
ベトナム	約1兆3,793億VND (LCベース▲26%、円ベース▲28%)	
ブラジル	約2.6億BRL (LCベース+0%、円ベース▲6%)	
フィリピン	約21億PHP (LCベース+14%、円ベース+15%)	
海外冷凍食品	LCベース+0%、円ベース+0%	

## 味の素株式会社 2020年3月期第1四半期 決算概要②

## ■セグメント別実績

【日本食品】 (単位:億円)

	19/4-6月	通期予想	通期進捗	18/4-6月	増減額
<b>売上高</b>	884	3,812	23%	881	2
調味料・加工食品	434	1,974	22%	439	▲5
冷凍食品(日本)	244	969	25%	238	6
コーヒー類	205	867	23%	203	1
<b>事業利益</b>	71	286	25%	53	17
調味料・加工食品	66	-	-	69	▲3
冷凍食品(日本)	15	-	-	4	11
コーヒー類	20	-	-	9	11
全社共通費	▲30	▲126	24%	▲30	▲0

以下、2020年3月期第1四半期に関するコメントです。増減要因については、影響額の大きい順に並べております。

- \*1 家庭用は前年並みも、業務用は大手需要家向け一部製品が前年を下回り、全体で減収。
- \*2 家庭用は、「ギョーザ」シリーズが引き続き好調、米飯が増収に転じ増収。業務用はデザート、餃子、焼売等の主力カテゴリーの販売が拡大するも、前年の販促影響等により減収。全体で増収。
- \*3 スティックコーヒーやインスタントコーヒー等への施策強化により前年並み。
- \*4 調味料・加工食品は、減収及び諸費用等の影響により減益。冷凍食品は、増収に伴い増益。コーヒー類は売上前年並みも、マーケティング費用の発生時期の違い等により増益。

【海外食品】 (単位:億円)

	19/4-6月	通期予想	通期進捗	18/4-6月	増減額
<b>売上高</b>	1,148	4,904	23%	1,152	▲3
調味料・加工食品	709	3,085	23%	722	▲12
冷凍食品(海外)	267	1,133	23%	266	1
加工用うま味調味料・甘味料	171	683	25%	164	7
<b>事業利益</b>	156	466	33%	106	50
冷凍食品(海外)	8	24	34%	▲8	16
全社共通費	▲35	▲156	22%	▲37	1

&lt;調味料・加工食品 換算為替影響&gt;

19/4-6月 売上高: ▲9億円、事業利益: ▲0億円

- \*1 前年の値上げ効果あるも、換算為替影響(▲9億円)や一部法人での流通在庫の影響により減収。
- \*2 北米、欧州におけるアジアン製品の継続拡大も、アモイ・フード社売却影響により前年並み。
- \*3 加工用うま味調味料は、主に海外における販売単価上昇により増収。  
参考>加工用うま味調味料の売上高 129億円
- \*4 調味料・加工食品は減収も、前年の値上げ効果等により増益。冷凍食品は、米国における前年の値上げ効果及び生産性改善等により大幅増益。加工用うま味調味料は、増収により大幅増益。  
参考>調味料・加工食品 +7、冷凍食品 +16、加工用うま味調味料 +24、甘味料 +1

【ライフサポート】 (単位:億円)

	19/4-6月	通期予想	通期進捗	18/4-6月	増減額
<b>売上高</b>	241	1,203	20%	276	▲35
動物栄養	149	826	18%	191	▲42
化成品	85	-	-	79	6
その他	6	-	-	5	0
<b>事業利益</b>	16	98	17%	28	▲11
動物栄養	▲6	23	-	10	▲16
化成品	30	-	-	27	2
その他	▲0	-	-	▲1	1
全社共通費	▲7	▲31	23%	▲8	0

\*1 アフリカ豚コレラ拡大の影響等により大幅減収。

\*2 主に電子材料の販売好調により増収。

\*3 動物栄養は大幅減収に伴い大幅減益。化成品は増収に伴い増益。

【ヘルスケア】 (単位:億円)

	19/4-6月	通期予想	通期進捗	18/4-6月	増減額
<b>売上高</b>	333	1,507	22%	342	▲9
アミノ酸	236	-	-	237	▲0
その他	96	-	-	105	▲9
<b>事業利益</b>	23	130	18%	19	4
アミノ酸	27	-	-	24	3
その他	8	-	-	6	1
全社共通費	▲11	▲50	23%	▲11	▲0

\*1 医薬用・食品用アミノ酸は販売拡大により大幅増収も、製薬カスタムサービスは出荷タイミングの影響等により減収、全体で前年並み。  
参考>医薬用・食品用アミノ酸 +17、製薬カスタムサービス ▲18

\*2 主に健康基盤食品や香粧品素材が前年を下回り減収。

\*3 製薬カスタムサービスは大幅減益も、医薬用・食品用アミノ酸が大幅増益となり全体で増益。  
参考>医薬用・食品用アミノ酸 +10、製薬カスタムサービス ▲7

\*4 減収となるも、前年並み。

【その他】 (単位:億円)

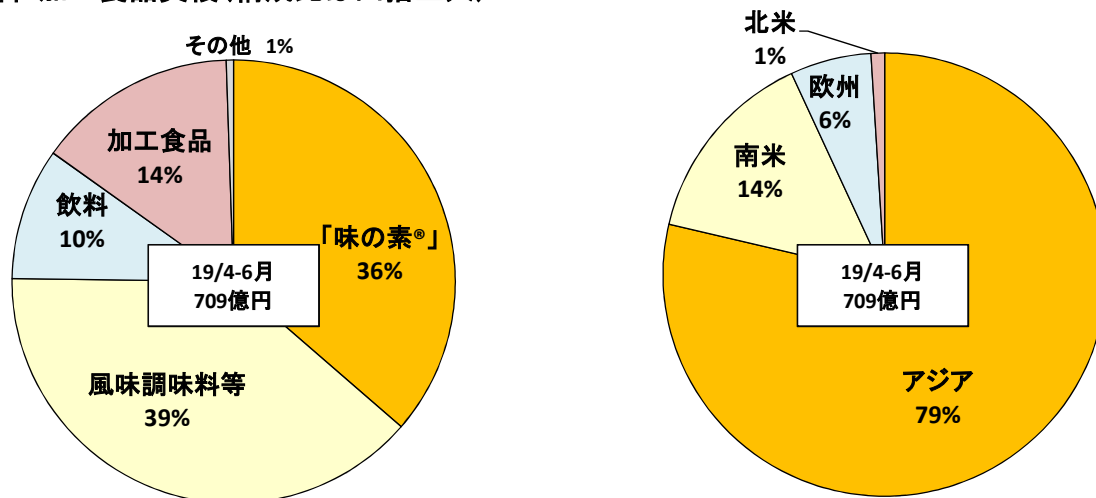
	19/4-6月	通期予想	通期進捗	18/4-6月	増減額
<b>売上高</b>	60	284	21%	60	0
<b>事業利益</b>	9	▲10	-	9	▲0
全社共通費	▲5	▲23	23%	▲6	1

\*1\*2 全体で前年並み。

# 味の素株式会社 2020年3月期第1四半期 決算概要③

2019年7月30日

## 参考1 海外調味料・加工食品実績(構成比は四捨五入)



## 参考2 地域別業績

<売上高>					(単位:億円)
	日本	アジア	米州	欧州	合計
日本食品	862 (3)	9 (▲1)	7 (0)	5 (▲0)	884 (2)
海外食品	37 (▲0)	596 (▲3)	416 (3)	98 (▲2)	1,148 (▲3)
ライフサポート	91 (6)	22 (▲9)	71 (▲14)	56 (▲18)	241 (▲35)
ヘルスケア	124 (▲6)	11 (2)	81 (8)	115 (▲14)	333 (▲9)
その他	28 (▲0)	31 (0)	-	-	60 (0)
合計	1,144 (3)	672 (▲11)	576 (▲2)	275 (▲36)	2,668 (▲46)
	1,141	683	579	311	2,714

上段:19/4-6月、下段:18/4-6月、( )内は増減額。

<事業利益>						(単位:億円)
	日本	アジア	米州	欧州	地域外	合計
日本食品	92 (16)	7 (2)	1 (▲0)	1 (0)	▲30 (▲0)	71 (17)
海外食品	6 (3)	137 (21)	39 (16)	6 (7)	▲34 (1)	156 (50)
ライフサポート	28 (3)	▲3 (▲3)	3 (▲0)	▲3 (▲11)	▲7 (0)	16 (▲11)
ヘルスケア	7 (2)	3 (1)	13 (1)	12 (▲0)	▲11 (▲0)	23 (4)
その他	12 (▲6)	1 (5)	-	0 (▲0)	▲5 (1)	9 (▲0)
全社共通費等	▲45 (2)	▲21 (▲0)	▲15 (▲0)	▲7 (0)	90 (▲1)	-
合計	101 (21)	125 (25)	41 (16)	9 (▲3)	-	278 (60)
	80	99	24	13	-	217

上段:19/4-6月、下段:18/4-6月、( )内は増減額  
全社共通費等には未実現利益消去等も含む。

※ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画のもととなる前提、予測を含んで記載しており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって、大きく異なる結果となる可能性があります。

※ 本資料には、監査を受けていない参考数値が含まれます。  
※ 本資料の金額は、億円未満を切り捨てて表示しております。

## 2020年3月期第1四半期 決算補足資料

## ◆当社シェア及び市場関連情報

修正箇所

## (1)主要製品 家庭用市場シェア(当社推定 消費者購入ベース)

## 調味料・加工食品

製品領域	主要ブランド	2017年度		2018年度			2019年度	
		市場規模 (億円)	当社シェア (順位)	市場規模 (億円)	当社シェア(順位)		市場規模予想 (億円)	当社シェア(順位) 4-6月
					4-6月	年度		
うま味調味料	「味の素®」、「ハイミー®」	56	90%(1位)	54	90%(1位)	90%(1位)	52	91%(1位)
和風だしの素	「ほんだし®」	376	58%(1位)	364	57%(1位)	57%(1位)	353	57%(1位)
コンソメ	「味の素KKコンソメ」	121	81%(1位)	118	80%(1位)	81%(1位)	120	80%(1位)
スープ	「クノール®」	940	38%(1位)	950	35%(1位)	38%(1位)	970	36%(1位)
マヨネーズ類	「ピュアセレクト®」	534	26%(2位)	536	25%(2位)	26%(2位)	531	27%(2位)
合わせ調味料	「Cook Do®」、 「Cook Do®きょうの大皿®」	779	30%(1位)	795	32%(1位)	31%(1位)	803	32%(1位)

## 冷凍食品

製品領域	主要ブランド	2017年度		2018年度			2019年度	
		市場規模 (億円)	当社シェア (順位)	市場規模 (億円)	当社シェア(順位)		市場規模予想 (億円)	当社シェア(順位) 4-6月
					4-6月	年度		
ギョーザ類	「ギョーザ」等	446	48%(1位)	467	49%(1位)	49%(1位)	5%程度成長	49%(1位)

## コーヒー類

製品領域	ブランド	2017年度		2018年度			2019年度	
		市場規模 (億円)	当社シェア (順位)	市場規模 (億円)	当社シェア(順位)		市場規模予想 (億円)	当社シェア(順位) 4-6月
					4-6月	年度		
インスタント瓶	「Blendy®」、「MAXIM®」	387	5%(3位)	371	4%(3位)	5%(3位)	356	5%(3位)
インスタント瓶詰替え	「Blendy®」、「MAXIM®」	281	41%(2位)	277	40%(2位)	40%(2位)	271	40%(2位)
スティック	「Blendy®」スティック、 「Blendy®カフェラテ」スティック	326	59%(1位)	328	58%(1位)	58%(1位)	338	57%(1位)
ホームレギュラー	「ちょっと贅沢な珈琲店®」	240	16%(3位)	236	15%(3位)	16%(3位)	231	17%(3位)
パーソナル・レギュラー	「Blendy®」トリップ®、 「ちょっと贅沢な珈琲店®」トリップ®	199	13%(3位)	203	13%(4位)	13%(3位)	209	13%(3位)

## (2)日本食品 家庭用/業務用比率\*1

(単位:億円)

		2017年度		2018年度	
		18/4-6月	19/4-6月	18/4-6月	19/4-6月
調味料・加工食品	売上高	1,902	439	1,910	434
	家庭用	54%	51%	54%	51%
	業務用*2	46%	49%	46%	49%
冷凍食品*3	売上高	998	234	965	240
	家庭用	56%	54%	54%	57%
	業務用	44%	46%	46%	43%
コーヒー類*4	売上高	964	211	909	212
	家庭用	75%	73%	75%	72%
	業務用	25%	27%	25%	28%

\*1:構成比は四捨五入、\*2:業務用調味料・加工食品、加工用調味料(天然系調味料・酵素製剤等)、弁当・惣菜、ベーカリー、

\*3:味の素冷凍食品社単体の数値であり、2019年度より純売上高で記載し過年度の数値を修正、\*4:味の素AGF社単体の数値を記載

## (3)北米の日本食・アジア食の冷凍食品 当社推定市場規模及び市場シェア

	2017年度	2018年度	2019年度予想
市場規模*1(百万USD)	643	655	4-5%程度成長
味の素フーズ・ノースアメリカ社	30%(1位)	33%(1位)	-

\*1 除くクラブストア向け、PB

## 2020年3月期第1四半期 決算補足資料

## (4)MSG、核酸系調味料 当社推定市場規模

	2017年度				2018年度			
	中国	その他	計	当社シェア	中国	その他	計	当社シェア
MSG(千ト)	1,640	1,570	3,210*1	約20%	1,660	1,600	3,260*2	約20%
核酸系調味料(千ト)	-	-	49	約30%	-	-	54	約25%

\*1 家庭用:60%弱、加工食品メーカー向け:40%強

\*2 家庭用:60%弱、加工食品メーカー向け:40%強

## (5)アミノ酸系甘味料アスパルテーム 当社推定市場規模

	2017年度		2018年度		2019年度予想	
	市場規模	当社シェア	市場規模	当社シェア	市場規模	当社シェア
アスパルテーム(千ト)	26.0前後	30%弱	28.0前後	30%弱	29.0前後	30%弱

## (6)飼料用アミノ酸 市況及び当社推定市場規模

		2017年度	18/4-6月	2018年度	19/4-6月	19/4-9月 予想*2	2019年度 予想*2*3
スプレッド(USD/ST)*1		195	230	195	170	150-200	150-200
市場価格 (USD/kg・ CIFベース)	リジン	1.40	1.40	1.40	1.35	1.35前後	1.35前後
	スレオニン	1.70	1.65	1.55	1.55	1.55前後	1.55前後
	トリプトファン	11.00	12.50	9.50	7.50	7.50前後	7.50前後
市場規模 (千ト)	リジン	2,400前後	/	2,600前後	/	/	/
	当社シェア	15%前後		10%前後			
	スレオニン	640前後		700前後			
	当社シェア	20%前後		10%前後			
	トリプトファン	37前後		41前後			
当社シェア	25%前後	25%前後					

\*1 シカゴ商品取引所(CBOT)の大豆粕とトウモロコシの価格差 \*2 業績予想の前提とは一致せず

\*3 市場規模については、豚コレラの影響により不確定要素が多く市場予想が困難なため、非開示としております。

## ◆セグメント別SG&amp;A、設備投資内訳

## (1)減価償却費 (単位:億円)

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度予想
日本食品	107	122	131	139
海外食品	175	196	201	220
ライフサポート	59	63	53	63
ヘルスケア	58	72	73	102
その他	21	11	13	16
全社	40	42	51	58
計	462	509	524	598

## (2)設備投資 (単位:億円)

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度予想
日本食品	448	168	197	273
海外食品	214	311	274	297
ライフサポート	87	66	56	50
ヘルスケア	88	160	161	134
その他	24	32	13	48
全社	32	55	91	13
計	896	794	796	815

## (3)研究開発費 (単位:億円)

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度予想
日本食品	34	34	35	41
海外食品	35	37	36	39
ライフサポート	50	52	54	47
ヘルスケア	25	25	29	39
その他	2	8	2	3
全社	122	119	120	118
計	271	278	278	287